

2017年8月号

特集：光ファイバーケーブルの高度化

情報伝送における多重化方式は、空間多重、波長多重、時分割多重の3つである。

テラビット級からペタビット級の光伝送実験成功はマルチコアファイバーによる空間多重の寄与が大であった。また、フューモードファイバーによるモード分割多重も空間多重の一種と見なされ、最近注目を集めている。

空間多重の最も理解しやすい対象は光ファイバーケーブルである。マルチコアファイバーやフューモードファイバーなどの新たな伝送媒体を対象とした将来の光ファイバーケーブルを視野に海底光ケーブルやアクセス系光ケーブルなど用途別に展開される光ファイバーケーブルの高度化について把握する意義は大きいと考え、本特集を提案する。

| No. | タイトル | 執筆者 |
|-----|-----------------------------|--------------------|
| 1 | 高速ネットワークと光ファイバーケーブル | NTTアドバンステクノロジー |
| 2 | アクセス系光ファイバーケーブルの周辺 | NTTアクセスサービスシステム研究所 |
| 3 | 光ファイバーケーブルの細径高密度化 | フジクラ |
| 4 | 光海底伝送システムと光ケーブル | OCC海底システム事業所 |
| 5 | 民生用光ファイバケーブルの展開 | 住友電気工業 |
| 6 | モード分割多重，マルチコア化に適した光ファイバケーブル | 古河電気工業 |
| 7 | 光ファイバーの標準化動向 | 大阪府立大学 |

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2017年7月25日
 申込締切：2017年6月25日
 原稿締切：2017年6月30日